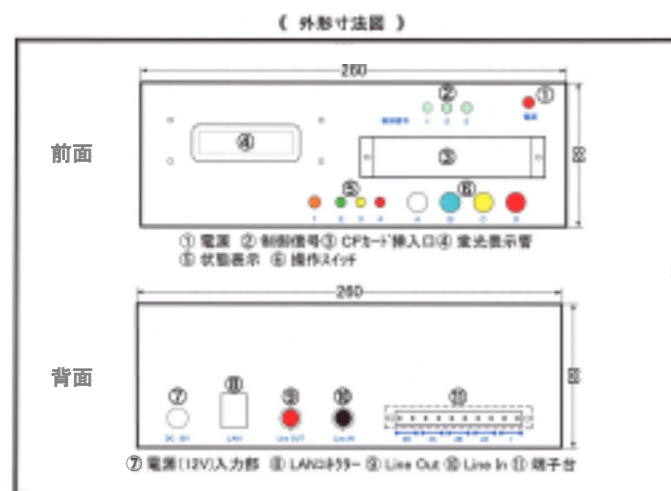



仕様書

名称	Signal Now
本体外形寸法	幅260mm、高さ108mm(ゴム足含む)、奥行き230mm ただしラックマウント時2U(ラックマウント金具別売)
重量	2.4kg(ラックマウント金具含まず)
電源電圧	AC90~220V(50/60Hz)
定格入力	DC12V-830mA
消費電力	15W(最大)
温湿度条件	0~40°C(25~85%)RH以下 但し結露なきこと
緊急地震速報受信方式	IPv4インターネット常時接続でのTCP/IP方式
Ethernet(10Base-T/100Base-T)	RJ-45 10Base-T/100Base-TX Auto Negotiation、Auto MDI/MDIX対応
サーバとの通信ポート	TCP-443
電源ランプ	前面パネル赤色LED
前面表示部	制御信号用LED・状態表示用LED
内蔵スピーカ出力	1.6W(最大)
外部機器制御信号出力	無電圧ループ接点出力、5ch(外部接続機器制御用) 定格:DC60V 250mA、AC100V 100mA
外部音声入力	RCA-モノラル 0dB/600Ω 不平衡
外部音声出力	RCA-モノラル 0dB/600Ω 不平衡 (外部音声入力併用の場合、発報時に外部音声入力信号から発報音声へ切替)
装置プログラム記録メディア	コンパクト・フラッシュ・メモリ(1GB)
付属品	AC-DCアダプタ(12V-1.9A)

2009/01/07現在 ※本仕様は予告なく変更する場合があります



株式会社TAOソリューションズ 
〒180-0022
東京都武蔵野市境2-13-4 平和ビル3階
TEL 0422-77-7017
FAX 0422-77-7152

<http://www.taosolutions.co.jp/>

発売元
お問い合わせ

CL070109

「高度利用者向け緊急地震速報」通報装置

放送設備も即連動！

Signal Now

シグナル・ナウ



瞬 瞬時に高度利用者向け緊急地震速報を受信！

発 放送設備との連動による一斉発報！

力 VPNによるセキュリティと
接続(監視・管理・報告)に優れたダブルパワー！



現場の「声」をカタチに。 Signal Now で緊急地震速報「運用の悩み」を一挙に解決！

多彩な機能で各分野にお応えします！ 商業ビル・病院・介護施設・工場・企業・学校・官公庁 etc

導入準備 → 導入検証 → 運用 → 拡張運用(機器制御) → BCP(事業の早期復旧・継続)

緊急地震速報の理解
①P波とS波の時間差を利用
②数秒の情報である
③間に合わない場合がある
④誤報があり得る など
【特性と限界を理解する】

【導入の有無を決定】
・受信方法の検討
・受信機の選定

①受信機のみで緊急地震速報を体感
②緊急地震速報の実内容を習熟
③メリット・デメリットの検証
④受信機機能を習熟 など
【発報～避難までの一連の流れを想定】

【自施設での放送連動の有無を決定】
・既存放送設備への連動
・放送設備新規導入
・アナウンス内容
・簡易行動マニュアル作成 など

①放送・張り紙などで建物全体へ周知・広報
②社員の教育・訓練
③各エリアでのセーフティーゾーン確保
④ガラスの飛散防止・ラックの転倒防止
⑤避難マニュアル作成 など
【実際の地震を想定した避難訓練を実施】

【放送設備以外の機器制御の有無を決定】
・厨房や食品製造工場でのガス弁遮断
・マンションやビルなどでのエレベーター制御
・PCの自動シャットダウン
・震災宿直室などの夜間照明強制点灯 など

①制御機器オペレーターの教育・訓練
②制御機器動作の定期確認・メンテナンス
③自施設の耐震診断・耐震補強などの実施
④自施設機能の確認(自家発電など)
⑤復旧時対応の検討
【被災時の被害を想定】

【BCP(事業継続計画)構築の有無を決定】
・安否確認システムの導入
・BCPマニュアル作成 など

①被災後、継続すべき重要業務の絞込み
②重要業務についての復旧時間の設定
③復旧について支障となる事項の抽出
④支障となる事項への対策の策定
⑤上記について常に最新の企業情報を反映すべく定期的な更新・見直し

【事業の存続を左右】

シーンに応じたステップアップ対応機 多彩な通報機能搭載！

Step.1

Signal Now導入で
地震対応の迅速化

①猶予時間がなくても通報

揺れ始めた後に受けた緊急地震速報でも演算処理した予測震度が設定震度に達した場合に即通報

②VPN接続

セキュリティ担当者様の負荷を軽減

③自動試験通報予約

防災訓練や抜き打ち訓練に合わせて試験通報日時を予約。予約日時に自動試験通報開始

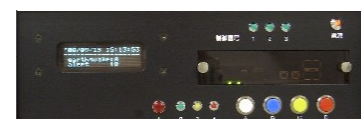
④緊急地震速報履歴レポート

緊急地震速報受信履歴と実際に通報した履歴をレポート形式で出力

【受信機のみ導入】

- 防災管理センター
- 震災対策室
- 警備室
- 施設管理室
- 役員室
- オフィスフロア
- 幼稚園・保育園

etc...



Step.2

放送設備に連動して
全社員様へ報知

①頭切れを解消

アンプの立ち上がりに合わせて通報を開始

②オリジナル音声ガイダンス対応

PCで作成した音源や、直接吹き込んだ音声を自由に組み合わせてオリジナルガイダンスで通報

③音声割り込みが可能

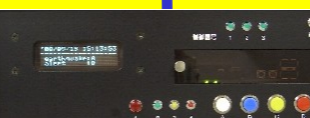
緊急地震速報受信時にBGMなどの常時放送をカットし、最優先で通報

④自動復旧

通報終了時に終息信号を送出し、アンプを開放します

⑤2U形状(要オプション金具)

19インチラックに収納可能



Step.3

エレベーター制御
など各機器の制御

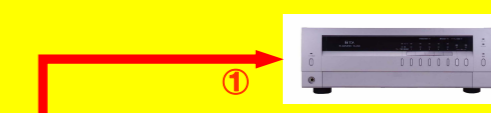
①猶予時間がなくても出力

揺れ始めた後に受けた緊急地震速報でも演算処理した予測震度が設定震度に達した場合に制御出力送出

②個別3設定5接点出力

制御出力の個別3設定で5出力が可能例)

- 接点① 震度5弱⇒放送設備
- 接点②A 震度4 ⇒エレベーター制御
- 接点②B " ⇒外部機器
- 接点③A 震度5強⇒自動ドア
- 接点③B " ⇒外部機器



外部機器